

H29.9.28 平成 29 年度 第 2 回 東淀川区区政会議 議事概要

日時・場所 平成 29 年 9 月 28 日(木)午後 8 時から午後 9 時。東淀川区役所 3 階区民ホール
出席者 区政会議委員 39 名、市議員 3 名、府議会議員 1 名

議題 1 東淀川区将来ビジョン～2022 年に向けて～（案・修正版）

11 月からパブリックコメントを提示し、来年 1 月に確定させる方向で準備を進める。

議題 2 平成 30 年度 東淀川区運営方針（原案・修正版）

- ・平成 30 年度運営方針は将来ビジョンの 5 つの目標をベースに経営課題と戦略を立てている。
- ・経営課題 1：市政改革プラン 2.0（区政編）の内容も含め、地域力の向上やつながりづくりの支援を強化、まちの魅力発信を新たな項目として挙げている。
- ・経営課題 2：こどもとおとなが互いに元気になるまち、すべてのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」、「共育」のまちを柱に居場所づくりなどを進める。
- ・経営課題 3：複合課題世帯への支援などの福祉課題や健康づくりについて取り組みを進める。
- ・経営課題 4：さまざまな主体との連携をめざし、事業を進める。
- ・経営課題 5：区役所に関連する項目を 1 つにまとめ、市政改革プラン 2.0（区政編）も踏まえ、区政会議の充実や区民サービスの充実を行う。
- ・30 年度具体的取組は今後検討。新しい部会で意見交換しながら修正を加え、3 月末完成予定。

議題 3 市政改革プラン 2.0（区政編）に基づく平成 29 年度運営方針（改定案・修正版）

- ・大阪市は、区政の検証を踏まえ 8 月に市政改革プラン 2.0（区政編）を策定。東淀川区でも今年度から取り組める内容を検討。平成 29 年度東淀川区運営方針の改定案を作成。
- ・改革の柱 1：地域コミュニティの活性化や多様な市民活動への支援について、今までは、地域活動協議会の運営支援を主に行ってきたが、それよりも身近な単位の自治会、町内会などへの支援に十分に意識が向いていなかったことから、人と人とのつながりづくりや自治会・町内会単位の活動の支援、NPO などのテーマ型団体への支援についても追加して実施する。
- ・改革の柱 2：分権型教育行政の効果的な推進など区長権限強化や、区政会議でのフィードバックを強化する中の充実、また、さらなる区民サービスの向上などを行う。
- ・これまでに委員からいただいた意見
 - ・マンションの建設地以外でも新しい人が町会に入りやすくするような支援の検討を。
 - ・市民活動総合ポータルサイトは団体登録の入力が難しいのでサポートが必要。
 - ・各地域に SNS 担当者設置や様式共有すればもっと地域活動の情報発信しやすくなる。
 - ・地域活動協議会の活動への企業参加呼びかけを防犯協会等の団体会員企業からできないか。
 - ・地域に無関係な区民の意見を区政会議に反映するため、無作為抽出区民に委員募集しては。→いずれも実行の手法として参考にさせていただきたい。

課題 1 ～ 3に関する各部会議長報告

魅力あるまちをつくろう！部会

平成 30 年度運営方針に向けて、特に重点的に進めてほしい点

- ・ 自助・共助をもとにした新しいコミュニティづくりと地域のつながりを強めるための取組み。
- ・ 区の魅力発信やにぎわいづくりのためのイベントなどの実施や、地域活動の情報発信、団体間の情報共有。

教育・子育て部会

平成 30 年度運営方針に向けて、特に重点的に進めてほしい点

- ・ こどもたちの居場所づくりについての取組みのサポート。
- ・ 自尊感情の向上について、それぞれが自尊感情が持てるような環境づくり。
- ・ 既存のゲストティーチャー派遣事業をさらに充実させる。

健康・福祉部会

前段部会での意見

- ・ (30 年度運営方針) 地域での関係づくりをより発展させ、隣近所を知らない人に声をかけていけるようになるにはどうすればいいかの仕掛けについては、区役所に検討してほしい。
- ・ (部会の運営) 仕事で福祉や介護に関わっている方たちをゲストスピーカーと呼ぶと会議の内容がより深くなるのでは。

平成 30 年度運営方針に向けて、重点的に進めてほしい点

- ・ 福祉等にかかわる相談窓口がもっとわかりやすく身近にする。
- ・ 複合活動の支援をより充実させていく。

防犯・防災部会

前段部会での意見

- ・ (東淀川区将来ビジョン) 地域と企業の連携促進、強化が必要。地域、警察、企業の協働的な力の共有や協力の強化が必要。
- ・ (市政改革プラン 2.0 (区政編) 単位町会に至るまでの活動支援が必要。

平成 30 年度運営方針に向けて、重点的に進めてほしい点

- ・ 事業を含めた地域との共有協力も含めた内容での効果を図っていくことが必要。
- ・ 項目新設された災害時の福祉・医療分野との連携は不可欠。実務的な評価を図っていくような施策促進を。
- ・ 交通ルール・交通安全に関する取組みが地域防犯から切り分けられた。さらなる取組みを進めてほしい。

議題4 これまでの区政会議の主な意見と区政反映（平成27年10月～平成29年9月）

資料をもとに各部会議長報告

魅力あるまちをつくろう！部会

主な意見

- ・東淀川区のイメージをよりよくする魅力の発信をしていくべき。
- ・地域活動の担い手確保のため、人材のデータベース化や企業、団体のつながりづくりを。
- ・にぎわいのある区民まつりになればいい。

主な区政反映

- ・魅力の発信事業として東淀川区魅力発見プロジェクトを発足。
- ・区のホームページのトップページから地活協のホームページへのリンクを設定。
- ・30年度の運営方針の原案に、にぎわいづくりの一翼を担う区民まつりの実施を記載。
- ・まちの魅力発信について、特に力を入れていただくように項目を新設。

教育・子育て部会

主な意見

- ・（ゲストティーチャー派遣事業）赤ちゃんと直接触れ合うことで命の大切さなどを学び、自尊感情の向上を図る事業を実施、トップアスリートとの交流会を開催してはどうか。
- ・（こどもの居場所）保護者も一緒に楽しめてこどもたちを地域みんなで見守っていけるように。こどもたちが遊べる場所が減っている。元気に遊べる場所の確保に行政が協力してくれれば。
- ・学校と意見交換をする機会があればいい。

主な区政反映

- ・部会提言「これからの子育て、子育ての方向性」について、将来ビジョンに反映。

健康・福祉部会

主な意見

- ・複合課題世帯への支援（29年度運営方針に反映）
- ・ライフステーションのキーホルダー事業など見守り活動を支援（29年度運営方針に反映）
- ・介護等の担い手：介護予防事業についてはサポートする側の支援・教育・人材育成も考えてほしい。今地域で活動されている方は、地域での知識やノウハウもたくさんあるので、後継者に継いでいっていただき、また、養成していくことが課題。
- ・がん検診だけでなく全体的な医療、健康格差の解消が必要。（29年度運営方針に反映）

主な区政反映

- ・相談窓口をもっと広くわかりやすくするため、支援機関に関する資料リーフレットを作成することを30年度運営方針に反映。

防犯・防災部会

主な意見

- ・（防災訓練）大規模地震だけではなく、水害や夜間等の災害時の訓練等にも目を向け、さまざまな状況を想定した訓練が必要である。
- ・（周知啓発）実務的な周知、実務的な呼びかけが必要。

- ・（学校連携）土曜授業を利用し、小学生や中学生が災害を受けるような認識を得ることができるとような地域との訓練ができないか。
- ・（エリア・地域間の連携）学校や消防の協力を得て訓練をするだけでなく、企業等と連携をとりながら共有、協力することができないか。
- ・（合同訓練）地域だけの訓練ではなく、団体等との協力訓練も必要。
- ・（医療福祉）災害時に市や医療の施設との連携、人材との協力共有が必要。
- ・（青色パトロール車）連合地域、校下地域だけではなく、隣接地の地域と乗り合いをすることで抑止力の強化が図れないか。スピーカーをうまく利用することで、ほかにも防犯にかかわるとような周知ができるのではないか。
- ・（防犯カメラ）維持については地域のほうで負担がかかる場所を少しでも軽減できるような施策を打ち出してほしい。
- ・（防犯連携）地域、警察、企業一丸となって防犯活動を行っていく中で防犯団体にも、協力を促していくことはできないか。
- ・（交通安全）講習会は、こどもだけではなく保護者に対しての講習会が必要である。交通事故が起こらないような道路事情も含めたようなハード面、また、道路の地図、自転車用の地図の作成をする必要がある。

議題5 次期区政会議について

東淀川区区政会議アンケートより

- ・意見交換のしやすさは、学習会 90%、部会 45.2%。
 - ・学習会をしていることについて 74.2%が「よかった」。資料の工夫やフィードバックに課題。
 - ・次期区政会議への思いでは、たくさん学習会は大変だが、意味があることだと思う。ほかの区での取り組みなどもシェアできると刺激になるのではないかなど
-
- ・10月12日に新委員説明会を開催。
 - ・11月8日に区政会議本会を開催。